

地域課題・目指す将来像

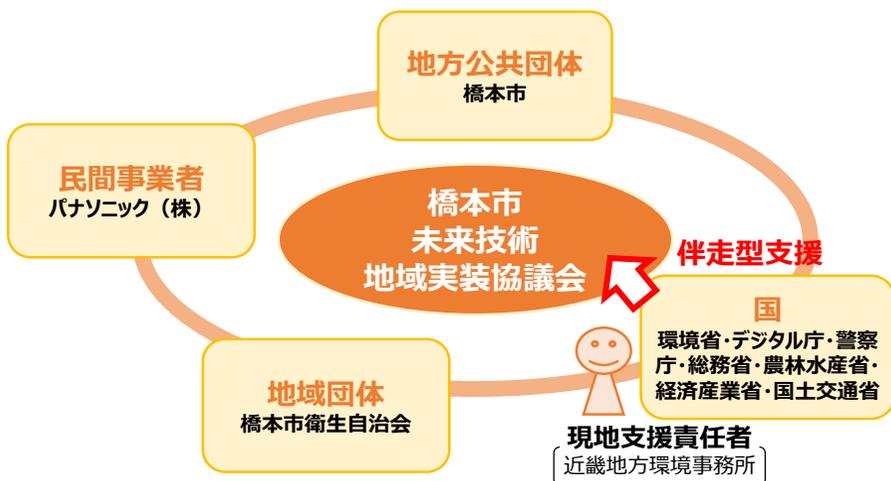
地域課題

- 財政、人的リソースおよび処分場残余量の逼迫により、**ごみ処理関連事業の継続やサービス品質の維持が困難な状況**である
- 人口減少、少子高齢化および核家族化の進展等により、これまで区や自治会のボランティアによって支えられていた**地域ごみ収集活動の担い手が減少**している

将来像

- 市民一人ひとりが「資源を分別して、燃やすごみ、埋め立てるごみを減らす」を目標に、有限な環境資源を次世代に引き継ぐ、環境に配慮した**循環型のまちの実現**
- 地域コミュニティが活性化され、多くの市民が地域のまちづくり活動に主体的に参画する、**多様な主体の協働によるまちづくりの実現**

推進体制



課題解決に向けた取組

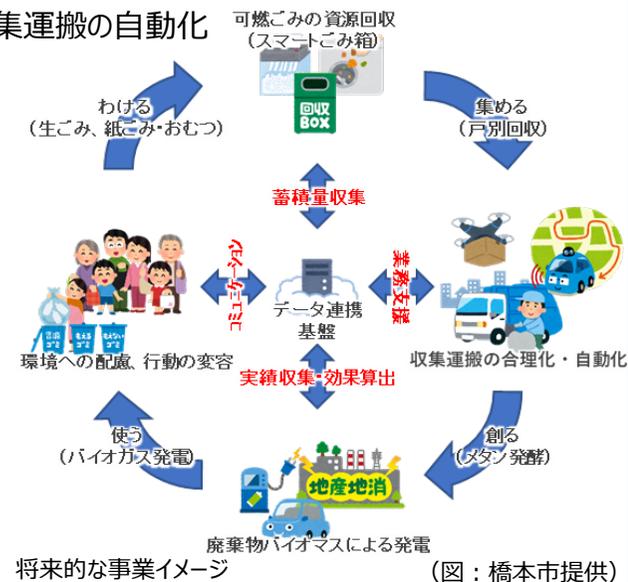
スマートごみ箱による収集運搬の合理化、廃棄物のバイオマス利用・資源化、資源化効果の見える化
⇒多様な主体との協働による循環型のごみ処理システムを構築

➤ 廃棄物バイオマスの収集事業

- ・可燃ごみからバイオマス利用可能な廃棄物の分別回収
- ・センサや通信機能を搭載したスマートごみ箱による収集運搬の合理化
- ・協力世帯に対する戸別収集サービスの提供
- ・自動運転やドローンによる収集運搬の自動化

➤ 廃棄物バイオマスの資源化事業

- ・廃棄物バイオマスのバイオガス化による発電施設の運営
- ・バイオガス発電で得られた電力の市民サービスへの還元や売電
- ・資源化効果の見える化等の情報共有やごみ処理を介したコミュニケーションアプリの提供



2023年度の主な取組

- 廃棄物バイオマス収集事業：スマートごみ箱やアプリケーションの設計、収集事業方式の検討を行う
- 廃棄物バイオマス資源化事業：資源化に向けた調査・検討を行う
- データ連携基盤の開発：設計・実装に向けた要件定義を行う